

ヤンキースタジアムに導入された SFA-1000

スリムでコンパクトな上下モジュール
分離型で照度設計が容易

- 独自の無レンズ反射方式の採用により眩しさ、ギラつきを防止
- 前後、左右調整可能で1台で2台分の照射が可能
- IP66対応防水防塵、重耐塩塗装、避雷対策標準装備
- 外付型電源安定器
- 無線または有線による調光制御（オプション）
- 製品保証5年間



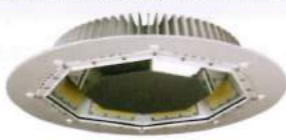
様々なスポーツに対応した 屋内LED照明

室内用照明も反射板を介して照射する特許機構を採用
眩しさやギラつきを抑え、快適な環境で競技可能



IBL シリーズ

SEJ シリーズ



④安心の5年間保証
寿命の長いLED照明だけに保証、バックアップ体制も気になる。
スポーツ施設専用LED照明は、△T（内部温度と外部温度）

③光成分へのこだわり
スポーツに最も適した光とは何か？それは太陽光（自然光）に他ならない。太陽光には青色成分が豊富に含まれており、青色成分はスポーツをするプレイヤーにとって
・活性の向上
・反応速度の向上
・集中力の向上（ケガのリスクの低減）
などの効果があることが、最新の照明工学によって証明されている（出典：米国 ヒューマンセントリック照明協会）。

スポーツ施設専用LED照明は、光成分にアスリートのパフォーマンスを向上させる青色成分を豊富に含むつつ、太陽光の約85%もの近似値をもつ、自然光に限りなく近い光成分を実現している。

スポーツ施設専用LED照明についてのお問い合わせ先

アシックスジャパン株式会社

○新規事業部
西日本地区 / TEL 06-6469-5166 東日本地区 / TEL 03-6369-8872

株式会社ニシ・スポーツ

○お客様相談室
TEL 03-6369-9024

受付時間：土、日、祝日
をのぞく（9：00～12：00
13：00～17：00）

⑤高演色性の実現
物体の色の再現性を表す単位がRa（演色性）。太陽光のRaが100とされており、その値に近いほど自然な色再現性を実現していることになる。スポーツ施設専用LED照明はRa90の高い演色性を実現している（Ra90高演色性モデルはオプション対応）。

②進化する映像技術に対応
今後数年間で日本において大きなスポーツの国際大会が開催されることもあり、映像技術は日々進化を続けている。スポーツ施設専用LED照明はその進化に対応し4K/Ra90/秒間1500フレームハイスピードカメラによる撮影にも対応可能なハイスペックを実現している。



スポーツ施設専用LED照明

スポーツのための新しい光、誕生。



ヤンキースタジアム/アメリカ（GigaTera社導入事例）

「SFA-1000」692台導入…既存照明1,000W～2,000W 888台を「SFA-1000（LED1,000W）」692台で置き換え
○消費電力/47%削減 ○照度/内野3,500ルクス→4,300ルクス 外野3,000ルクス→4,200ルクス ○有線式個別制御による調光

アシックスグループが 国産LED照明販売開始

国内外のスポーツ施設において、既存照明のLED照明への置換がここに来て急速に進んでいる。世界的に水銀使用製品の生産・販売を禁止した水銀条約を受け、既にメーカーでの製造が終了している水銀灯などの管球の調達ができなくなっていること、老朽化などで施設設備の改修が必要な中で、水銀灯照明器具の導入が現実的ではないことなどを受け、LED照明導入を検討している施設が増えてきている。

そんな状況の中でアシックスグループは、昨年末、ブルーアイズグループと、同グループが取り扱うGigaTera社製のスポーツ施設専用LED照明を国産化し、国内の公共スポーツ施設向けに独占販売していくことで業務提携を締結した。

今後はアシックスグループのアシックスジャパンおよびニシ・スポーツがこの国産スポーツ施設専用LED照明を販売していくことになるが、ここで改めてスポーツ施設の照明として求められる条件、どのようなスペックをもってして「スポーツ施設専用LED照明」と考えているのかを、まとめておく。

①眩しさ防止

競技者にとってLED照明特有の眩しさ、ギラつき感には看過できないもの。特に野球は小さいボールが高いフライとなった場合など照明によっては見難くなる場合がある。屋内競技でも、バドミントンやバスケットボール、卓球や体操、水泳なども眩しさは気になる。一般的なLED照明はLED発光素子が照射対象（コートや競技者など）と正対するため、素子自体のギラつきは不可避である。対策として全面ガラスをすりガラスにして光を拡散させるなどの手法がとられるが、素子自体のギラつきは残るし、なによりも同じW数で約10～15%も照度が低下してしまう。

スポーツ施設専用LED照明は、発光素子の光を反射板を介して照射（国際特許出願中。日本国特許：第5668175号）する特許技術を採用しているため、面発光に近い自然でやわらかい光になる。また、発光素子自体が直接競技者の眼に入らないためギラつき、発光素子の残像感が残りにくい。照度と眩しさ防止を両立させていることは、アメリカ大リーグの球場でも高評価を得ている。